

福岡音楽団体連絡会

福岡音楽団体連絡会は、福岡都市圏に本拠地を置いて活動するクラシック系音楽団体の交流組織で、加盟団体相互の親睦を図るとともに、福岡における音楽文化の発展に寄与するための様々な活動を実施することを目的としています。

1981年10月に発足し、加盟団体は23団体(2026年時)、行政に向けた音楽練習場やコンサートホールの建設要望など福岡市の音楽文化環境向上のための活動や、福岡市民芸術祭をはじめとした合同演奏会など、地域に根ざした交流組織ならではの積極的な活動を展開しています。

加盟団体

- オーケストラ: 公益財団法人九州交響楽団 福岡市民オーケストラ
福岡OBフィルハーモニーオーケストラ
- オペラ : 一般社団法人西日本オペラ協会 コンセル・ピエール
- マンドリン : 福岡マンドリンオーケストラ
- 器楽・声楽 : 福岡リコーダーオーケストラ 福岡青年音楽家協会
特定非営利活動法人OnPal
- 邦楽 : 箏曲鶯絃会
- 混声合唱 : コーロ・ピエーノ 混声合唱団トニカ 混声合唱団 福岡合唱協会
福岡フロイデコール スプリッツァー コール・グラウベン福岡
- 男声合唱 : 西南シャントウール 九州フレッシュメンコア
- 女声合唱 : RKB女声合唱団 女声合唱団コールエスポワール 女声合唱団けやき
フラウエンコール南 グリーンヒルコール アンサンブルGioia

これまでに行った合同演奏会

- 1984年11月 福岡市民芸術祭「84ミュージックフェスティバル」開催
- 1986年11月 福岡市民芸術祭「第九inふくおか」開催
- 1992年10月 福岡市民芸術祭「92ミュージックフェスティバル」開催
- 1995年10月 福岡市民芸術祭「95ミュージックフェスティバル」開催
- 1997年11月 「森脇憲三追悼演奏会」開催
- 1998年 9月 福岡市民芸術祭「九州のうた・アジアのうた」開催
- 2001年11月 アクロス福岡県民フェスティバル「2001・復活」開催
- 2004年 5月 アクロス福岡開館10周年記念「2004ミュージックフェスティバル」開催
- 2005年10月 福岡マンドリンオーケストラ第40回記念演奏会「2005・出逢いと夢」開催
- 2015年11月 福岡マンドリンオーケストラ第50回記念演奏会開催
- 2005年以降毎年 音団連 ミニこん! ききにこん! あら・かるとコンサート開催

入会について

福岡音楽団体連絡会に加盟して一緒に活動しませんか。オーケストラ、マンドリン、器楽、合唱などジャンルを超えた交流が魅力です。

連絡先

〒810-0034 福岡市中央区笹丘2丁目22-15
TEL/FAX: 092-761-2853
Mail: ondanren@jcom.home.ne.jp
URL: <http://ondanren.onpal.org/ondanren/>
担当: 事務局長 真 隅 潔

福岡音楽団体連絡会 誕生ものがたり

1980年代に入ること、福岡市では、オーケストラ、オペラ、器楽、声楽、合唱、吹奏楽、マンドリンなどの音楽活動が活発化し「活動拠点の練習場が欲しい」という声が高くなるようになった。



折しも、1981年2月に福岡市主催の「福岡の文化を考えるシンポジウム」が開催され、5月には、福岡青年音楽家協会の青沼と福岡市民オーケストラの田中、真隅が呼びかけ人となって「第1回音楽団体のつどい」を開催、音楽団体が結集して、練習場建設運動を進めることが決まった。



「第4回音楽団体のつどい」では、九州交響楽団をはじめとする21団体による「福岡音楽団体連絡会」の設立が決まり、練習場建設に関する要望書を福岡県と福岡市に提出した。



1981年11月に県庁跡地の「県立劇場建設案」が発表されたため、6700名の署名を集め、女声合唱団などの女性パワーがさく裂し、音楽練習場を併設する内容の県議会への請願が採択された。

その後、知事の交代で「県立劇場建設案」が白紙に戻されるなどの紆余曲折を経て、1984年に福岡市において「音楽・演劇練習場」の建設が取り上げられるも、今度は場所の選定が難航した。

福岡音楽団体連絡会では、会の結束と行政との信頼関係を高めようと、加盟団体の合同による演奏会など音楽団体の集まりにふさわしい活動を展開した。1989年に福岡市の練習場設置が決定、1991年10月に「福岡市音楽・演劇練習場」(パビオビールーム)が完成した。会の発足から10年が経過していた。



福岡音楽団体連絡会は、練習場の規模や部屋の広さ、部屋の数、楽器庫の設置、音響、使用料などについて福岡市と何度も協議を重ね設計における重要な役割を果たした。

大中小15もの部屋を持つ練習場は全国でも最大規模で、定期利用制度や楽器庫など、その後、全国に続々と建設されることになる練習場のモデルともなった。



福岡音楽団体連絡会は、オーケストラ、オペラ、器楽、声楽、合唱、マンドリン、箏などジャンルを超えた音楽団体の集まりという全国的にも珍しい特徴を有している。

設立から10年後に、最大の目的だった練習場が完成した後も福岡音楽団体連絡会は、合同演奏会の開催や音楽文化の向上に関する要望活動などを通じて、福岡市の音楽文化の発展に貢献を続けている。